

日置市の皆さんと節目を祝う

阿寒国立公園指定80周年



阿寒国立公園は今年、指定から80周年の節目を迎えます。1934(昭和9)年12月4日、大雪山国立公園、日光国立公園(栃木県・群馬県・福島県・福島県)、中部山岳国立公園(長野県・岐阜県・富山県・新潟県)、阿寒国立公園(熊本県・大分県)後の阿蘇くじゅう国立公園)とともに指定されました。道内では最も歴史のある国立公園です。

町では10月17日、80周年を祝う記念式典を開催。式典には、本町の姉妹都市・鹿児島県日置市の皆さんも多数駆けつけ、交流を深めながら節目を祝いました。

先人の偉業を振り返り 弟子屈の自然や文化に触れ 日置市訪問団

記念式典に合わせ、日置市の宮路高市長ほか市議会議員や教育委員、市民ツアーの皆さんなど66人が、10月16日(20日)にかけて本町を訪れました。

同市出身の永山在兼氏(1889-1945年)が釧路土木出張所長時代、本町と阿寒湖畔を結ぶ約40kmの阿寒横断道路整備に尽力したことが縁で、本町と同市は1983(昭和58)年に姉妹都市盟約を締結。昨年30周年を迎えました。

1930(昭和5)年に横断道路が完成したことを受け、1934年に阿寒国立公園が指定されたことから、当時はこの道路が「永山道路」、永山氏が「阿寒国立公園の父」と呼ばれたといいます。

18・19の両日には、記念の交流物産展が道の駅摩周温泉で開催されました。同市の特産品である薩摩焼酎やミカン、サツマイモ、かまぼこ、魚の一夜干しなどが並んだほか、揚げたてのさつま揚げの無料配布や、お茶のつかみ取りなども行われ、両日とも多くの方でにぎわいました。

同市の皆さんは、鎧別にある永山在兼顕彰の碑を訪れ献花。郷土が誇る先人の偉業に、あらためて思いをよせました。

また、摩周湖や屈斜路湖、硫黄山、900草原、大鵬相撲記念館など町内の景勝地を訪れ、同市から1千800名離れた姉妹都市を体感。町主催の歓迎セレモニーや交流会にも参加し、親交を深めました。

記念の年を機に 両市町の友好をさらに深めて 国立公園指定80周年記念式典

町主催の阿寒国立公園指定80周年記念式典が10月17日、川湯観光ホテルで開催されました。式典には、徳永町長はじめ町民の皆さんと、日置市からの訪問団合わせて約130人が出席しました。

阿寒国立公園は、本町はじめ釧路市・標茶町・白糠町・中標津町・大空町・美幌町・津別町・清里町・小清水町、足寄町にまたがる904.81平方キロ。千島火山帯の活動によってできた阿寒・屈斜路・摩周の3つのカルデラ地形が基盤となっていて、火山と森林、湖が多数存在するのが特徴です。火山の恩恵として温泉も多く、たぐいまれなる自然環境と合わせて、地域の観光資源となっています。

摩周湖や屈斜路湖、硫黄山などを有する本町は、面積の約65%が同国立公園内にあり、これらの資源を生かし、農業とともに観光を基幹産業として発展してきた歴史があります。

式典では、徳永町長が「永山在兼氏の偉業が、阿寒国立公園の指定につながった。国立公園の恩恵を受け止め、この財産を次の世代に伝えていきたい」とあ

いさつ。宮路市長は「永山氏が縁で、弟子屈町と日置市の交流が生まれたことは大変うれしいこと。今後も交流を続けていきたい」と話しました。

80周年を記念して、同市からは、永山氏をデザインしたラベルの薩摩焼酎が本町に贈られました。本町からは、木彫りのフクロウを同市に贈呈。節目を祝い、姉妹都市としての友好を確かめました。

会場では、環境省釧路自然環境事務所が発行した80周年記念アルバムをスライドで紹介。出席者の皆さんは、町内在住の写真家の皆さんが撮影した摩周湖や屈斜路湖などの写真に見入っていました。

アトラクションでは、屈斜路古丹アイヌ文化保存会の皆さんが、踊りやムックリ(アイヌの楽器)を披露。会場からは大きな拍手が送られました。

□問い合わせ先/役場観光商工課 観光振興係 ☎482・2940(課直通)まで。

①永山在兼顕彰の碑を訪れた訪問団の皆さん ②③⑥⑦硫黄山・砂湯・美幌峠・大鵬相撲記念館を訪問 ④到着日に行われた歓迎交流会 ⑤公民館での歓迎セレモニーで訪問団の代表の方がいさつ ⑧式典で記念アルバムをスライド上映 ⑨宮路日置市長から記念の焼酎を受け取る徳永町長 ⑩式典の後は祝賀会を開催 ⑪日置市議会議員の方もアイヌの踊りを体験 ⑫摩周湖に感激する訪問団の皆さん ⑬大盛況だった交流物産展

